

## (20) 大学改革戦略会議

## ① 設置の趣旨（目的）及び組織

## ア 組織設置の趣旨（目的）

大学改革戦略会議は、教育研究評議会の専門委員会として、従前の大学改革推進委員会の機能を引き継ぎ、上越教育大学における教育及び研究等の機能強化に向けた戦略及び将来構想等の策定を目的に令和3年4月に設置した。

## イ 組織の構成及び構成員等

大学改革戦略会議は、学長を議長として、教育研究評議会評議員及び学長が指名した者若干人から組織することとしており、令和6年度は評議員16人の構成とした。

## ② 運営・活動の状況

## ア 委員会等の開催状況

令和6年度は、次のとおり3回開催した。

令和6年 4/24（水）、7/31（水） / 令和7年 2/5（水）

## イ 審議された主な事項

令和6年度の主な審議事項は次のとおりであった。

- i) 大学院定員充足に向けた強化方策
- ii) 令和7年度概算要求（教育研究組織改革分（組織整備））
- iii) アスリートから小学校教員へのキャリアパスモデルの構築
- iv) 各種教育プログラムの統合・整理等
- v) 役員会、教育研究評議会及び教授会並びに各種学内委員会等運営の見直し

## ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

議長である林学長主導の下、特に以下の事項を中心に検討し取りまとめるなど対応を行った。

## i) 大学院定員充足に向けた強化方策

近年における大学院入試の応募状況が芳しくない現状に鑑み、大学院の定員充足に向けた取組を本学の最優先的事項として速やかに検討・実施するため、執行部において昨年度策定した「大学院定員充足に向けた強化方策（執行部案）」について、進捗状況を報告した上で、関係委員会等において検討し、速やかに必要な取組を進めていくこととなった。

## ii) 令和7年度概算要求（教育研究組織改革分（組織整備））

令和5年度概算要求にて採択された「学校教員養成・研修高度化センター」の整備に係る継続分及び令和6年度概算要求にて採択された「いじめ・生徒指導研究研修センター」の整備に係る継続拡充を要求することとし、新規事業の要求は行わないこととした。

## iii) アスリートから小学校教員へのキャリアパスモデルの構築

大学院の定員充足及び小学校教員を目指す者の多様化を目的とし、アスリートから小学校教員へのキャリアパスモデルを構築するため、「スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）」への入会やスポーツ関係団体との意見交換等に取り組んだ。また、同コンソーシアムのサロンにおける本学の取組紹介や、元アスリートの本学教職大学院修了生へのインタビューの実施等にも取り組み、状況を報告した。

## iv) 各種教育プログラムの統合・整理等

柔軟かつ機動的な教育プログラムの改編・整備の推進に向けて、本学が提供している各種教育プログラムの内容を見直し、今後は学校教員養成・研修高度化センター運営委員会において対応を進めていくこととした。

v) 役員会、教育研究評議会及び教授会並びに各種学内委員会等運営の見直し

委員から教職員の負担軽減に関する意見が挙げられたことを踏まえ、教員の教育研究時間確保、職員の事務業務の効率化に向けた学内会議等運営の見直しに取り組んだ。

### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

#### ア 優れた点

上述のウのiii) アスリートから小学校教員へのキャリアパスモデルの構築に関して、スポーツ関係団体との意見交換により連携に向けた協議が進められたことや、iv) 各種教育プログラムの統合・整理等及びv) 役員会、教育研究評議会及び教授会並びに各種学内委員会等運営の見直しにより教職員の負担軽減が図られたことは、優れた点として挙げられる。

#### イ 今後の検討課題

上述②のウのi) 大学院定員充足に向けた強化方策に関する検討や、iii) アスリートから小学校教員へのキャリアパスモデルの構築に向けたスポーツ関係団体との協議等について、引き続き対応する必要がある。

また、令和8年度概算要求（教育研究組織改革分（組織整備））に関して、新規事業の要求内容を検討する必要がある。